

**国立博物館収納石碑写真集**

**Inscriptions in  
Museum Gajah, Jakarta**

**田口重久編**

## 前書き

この写真集は、ジャカルタにあるインドネシア国立博物館(Museum Nasional = Museum Gajah)に収納されている石碑の写真を掲載し、それに説明を加えたものである。

同博物館にもウェブサイトにも、収納されている石碑の一覧表などがまとまっているものがないので、自分の参考用に、また興味を持つ人たちのためにまとめたものである。

収納リストにはあるが未掲載の石碑は撮影していないものであり、おいおい追加したい。

特に注釈がない限り写真は2011年7月16日と17日に作者自身で撮影したものであり、展示場平面図と地図も自作である。

ここで利用したウェブサイトからのデータは、信頼性が低いですが、他に利用できるデータがないものが含まれているため、現場検証をしながら校正を進めていく。

尚、歴史的に有名な石碑はジャカルタ北部にあるファタヒラー歴史博物館にも数点が収納されている。

間違いなどの指摘、ご意見をぜひ賜りたい。

2013年7月24日

編集者 田口重久<omdoyok@infoseek.jp>

# 国立博物館収納石碑写真集

## Table of Contents

D.1	Singga/Biri.....	7
D.2a&2d	Mulawarman Yupa.....	8
D.4	Canggal.....	9
D.6	Taji Gunung.....	10
D.7	Tulang Air I (Candi Perot I).....	11
D.8	Penampihan.....	12
D.9	Hantang.....	13
D.10	Wayuku.....	14
D.11	Dien.....	14
D.12	Sumengka.....	15
D.14	Sarangan.....	15
D.15	Gunung Pangonan.....	16
D.16	Baru.....	16
D.17	Kandangan (Gunung Kidul).....	17
D.18	Gunung Dieng.....	17
D.19	Huwung.....	18
D.20	Telaga Tanjung (Kali Beber).....	18
D.21	Kampak.....	19
D.22	Patakan.....	20
D.23	Kambang Putih.....	21
D.25	Cane.....	22
D.27&34	Kayumwungan (Karang Tengah).....	23
D.28	Siwagrha(Sivagrha) Balaputra-Jatiningrat.....	24
D.31	Taji.....	25
D.32	Janggala.....	26
D.33	Sri Sastraprabhu (Sirah Keting).....	27
D.35	Java Central.....	27
D.36	Timbanan Wungkal (Gatak).....	28
D.37	Kawambang Kulwan.....	28
D.38	Prapancasapura.....	29
D.39	Tri Tepussan II (Candi Petung II).....	30
D.40	Mantyasih II / Balitung Charter / Kedu.....	31
D.43	Jawa Tengah.....	32
D.44	Kelurak.....	32
D.45	Salimar I (Prambanan).....	33

D.46	Salimar II (Nanggulan II) .....	34
D.51	Srago .....	34
D.54	Balingawan (Singasari) .....	35
D.57	Dieng No. 8 and 9 .....	37
D.58	Sir Manggala I .....	37
D.59	Anjuk Ladang .....	38
D.60	Madiun .....	39
D.62	Pendem.....	39
D.63	Turu Mangambil (Pendem II).....	40
D.66	Kinawe (Tanjung Kalang) .....	41
D.67	Sepanda (Hering).....	42
D.70	Jeru-jeru .....	43
D.73	Sanghyang Tapak .....	44
D.74	Gunung Wule (Brahol).....	45
D.77	Wukiran (Pereng) .....	46
D.79	Kanten.....	47
D.80	Tulang Air II (Candi Perot II).....	47
D.81	Wanua Tenggara I (Candi Argapura I) .....	48
D.82	Plaosan .....	49
D.83	Sungih Manek .....	49
D.86	Tuban .....	50
D.87	Sungih Manek (Singasari).....	50
D.88	Gulunggulung (Singasari).....	51
D.89	Surabaya.....	52
D.90	Kota Kapur .....	53
D.93	Munggu Antan (Bulus).....	54
D.95	Piling piling .....	54
D.96/97/98	Sanghyang Tapak .....	55
D.103	Linggasuntan (Lawajati) .....	56
D.107	Tri Tepissan I (Candi Petung I) .....	57
D.109	Balingawan (Singasari) .....	57
D.111	Singhasari .....	58
D.112	Candi Singasari.....	58
D.113	Kanjuruhan / Dinoyo.....	59
D.114	Dinoyo .....	60
D.118	Krawang .....	60
D.119	Unnamed.....	61
D.123	Dieng.....	61

D.124	Tugu .....	62
D.125	Condrogeni I.....	63
D.130	Candi Keblak.....	63
D.131	Candi Ijo.....	63
D.133	Tumpang .....	64
D.134	Palingan .....	64
D.137	Candi Rini.....	65
D.138	Nglurup.....	65
D.139	Sapuangin .....	66
D.141	Layuwatang.....	66
D.144	Manggala II .....	67
D.145	Talang Tuwo .....	67
D.146	Kedukan Bukit.....	68
D.147	Kalasan .....	69
D.148	Suracala .....	70
D.150	Sanggarahan.....	70
D.152	Candi Tuban.....	71
D.153	Ngalindung.....	71
D.155	Telaga Batu .....	72
D.163	Telaga Batu .....	72
D.168	Tapan .....	73
D.169	Getes .....	73
D.173	Harinjing B (Sukabumi) .....	74
D.175/176/177	Mulawarman Yupa.....	75
D.178	Unknown .....	76
D.180	Gadang .....	76
D.182	Merjosari .....	77
D.183	Unnamed.....	78
D.195	Madiun I .....	78
D.198	Amoghapasa (Padang Roco) .....	79
D.199	Unknown .....	80
D.201	Candi Tegowangi.....	80
D.207	Kediri.....	80
D.213	Ngluyu .....	81
考察 .....		82
石碑一覧 名称順.....		85
地図 .....		89
編者略歴 .....		90

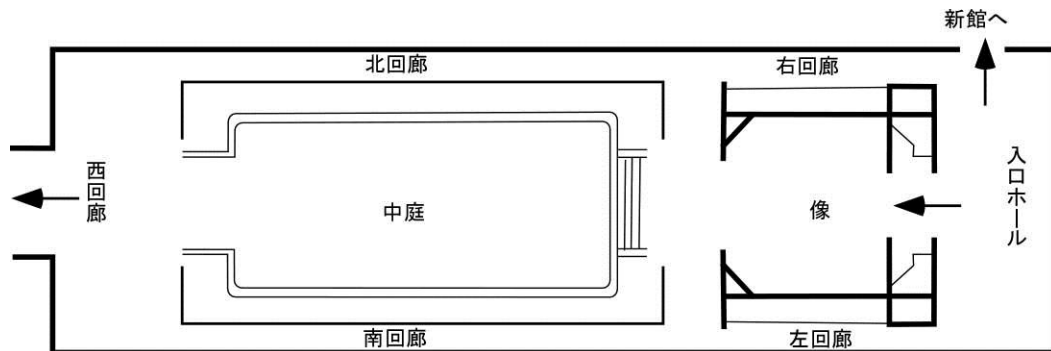
## 凡例

石碑コード	名称	設置年	展示位置
使用言語	使用文字	発見地	
写真 <写真番号>		写真 <写真番号>	
説明			

### 【註】

国立博物館内の展示位置

左	左回廊	右	右回廊	新	新館
北	北回廊	南	南回廊	像	像
西	西回廊	中	中庭		



本館展示室平面図

### 【使用言語】

Jawa Kuno:古代ジャワ語    Melayu Kuno:古代マレー語    Sanskrit:サンスクリット語



### 【使用文字】

Jawa Kuno:古代ジャワ文字    Pallava:パーラワ文字    Pranagari: デーヴァナーガリー

### 【発見場所】

Jatim:東部ジャワ州	Jateng:中部ジャワ州	DIY: ジョグジャカルタ
Jabar:西部ジャワ州	Kaltim:東カリマンタン州	Sumsel:南スマトラ州
Sumbar:西スマトラ州	Riau:リアウ州	

## 国立博物館収納石碑写真集

D.1	Singga/Biri	A.D.1202
Unknown	Unknown	Kediri, Jatim
 <p style="text-align: center;">&lt;110717-007&gt;</p>		 <p style="text-align: center;">&lt;110717-008&gt;</p>
<p>この石碑は、Singga/ Kertajaya 王が 1202 年 8 月 29 日に Biri を免税地にした件について書かれている。</p>		

D.2a	Mulawarman	5th Century	新
Sanskrit	Pallava	Kutai, Kaltim	
			
<110716-115>	<110716-117>	<110716-049>	
<p>Mulawarman あるいは Kutai 石碑は Kutai 王国の遺物である。この石碑は 7 点発見されそのうち 4 点の解読がようやく終わったばかりである。</p> <p>この石碑はサンスクリット語で Pallava 文字で記されており、その形から西暦 400 年ごろのものと考えられている。この碑文は詩の形で書かれている。</p> <p>内容は、Mulawarman 王が大量の牛を Brahmana たちに奉納したことを書いている。Mulawarman は Kudunga の孫であり、Aswawarman の子供と言われている。</p> <p>この石碑は、インドネシアにおけるヒンドゥー教王国の最古の残存証拠を形成している。Kutai という名前はこの石碑には記されていないものの、この石碑が東カリマンタン州 Kutai 県のまさに Mahakam 川の上流域で発見されたため、一般的にこの王国について使われている。</p>			



D.4	Canggal	A.D. 732	新
Sanskrit		Pallava	Kadiluwih, Salam, Magelang, Jateng
 <p data-bbox="316 1064 528 1097">&lt;110716-121&gt;</p>		<p data-bbox="726 300 1455 524">Canggal 石碑、別名 Gunung Wukir 石碑は西暦 732 年の年号があり、candrasengkala(数字の符牒)の形の石碑である。この石碑は中部ジャワ州、Magelang 県 Salam 郡 Kadiluwih 村の Gunung Wukir 祠堂の広場で発見されたもの。</p> <p data-bbox="726 584 1455 719">この板碑はサンスクリット語を Pallawa 文字で書かれている。この石碑は古マタラム王国の支配者として 732 年に Sanjaya 王の宣言文であると みられている。</p> <p data-bbox="726 779 1455 958">この石碑は Sanjaya 王が Kunjarakunja 村にリングを立てたことについて語っており、最初の王は Sanna であり、Sanna の姉妹である Sannaha の子供の Sanjaya がその跡を継いだとも書かれている。</p>	
<p data-bbox="172 1113 336 1146">&lt;碑文内容&gt;</p> <p data-bbox="172 1160 1214 1193">第 1 段では山頂にサンジャヤの王がリングを建てたことについて解説している。</p> <p data-bbox="172 1207 1018 1240">第 2-4 段ではシヴァ神に対する祈りの言葉が盛り込まれている。</p> <p data-bbox="172 1254 1023 1288">第 5 段ではブラーマ神に対する祈りの言葉が盛り込まれている。</p> <p data-bbox="140 1301 1455 1435">第 6 段はヴィシュヌ神に対する祈りである。第 7 段はジャワ島は土地が肥えていて豊かで金鉱もありしコメの収穫も多いと解説している。同島に南インド・クンジャラクンダデサ(度欲註:象の森の村の意味、タミルナド州 Tirunalveli)出身の民衆の幸せのためにシヴァの祠堂を建てた。</p> <p data-bbox="140 1449 1455 1538">第 8,9 段では慈愛に富み公正な政治を行ったサンナ王によってジャワ島が治められていると解説している。サンナ王がみまかった時、国は守護者を失った悲しみに覆われて喪に服した。</p> <p data-bbox="140 1552 1455 1641">第 10,11 段ではサンナ王の王子、サンジャヤ王が王位を継承した。サンジャヤは太陽に例えられた。サンジャヤ王はサンナ王から直接ではなく、姉から王位を継承した。</p> <p data-bbox="140 1655 1455 1724">第 12 段は国の平和と安全、平穏を解説している。国民は道路の中で寝ることもでき、泥棒やひったくり、その他の犯罪行為を恐れる必要はなかった。国民は全て幸せに生きていた。</p>			

D.6	Taji Gunung	A.D. 910	
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Taji, Prambanan, DI. Yogyakarta	
			
<110716-007>		<110716-008>	
<p>内容</p> <p>サンジャヤ歴 194 年に、Sang Rakryan Mahamantri によって Desa Taji Gunung を免税地にしたという布告。</p> <p>“Rakryan Mahamantri I Hino Çri Sanggramawijaya Dharmaprasadattunggadewi (1965)”の中で考古学者の Boechari は Raja Rakai Watukura Dyah Balitung から Rakai Hino Pu Daksa への交替はかなり不自然な形で行われたと言っている。この Taji Gunung 碑文に Rakryan Mahamantri i Hino Pu Daksa が Desa Gurunwangi とともに Desa Taji Gunung が免税地に決定したことが見られる。</p> <p>&lt; <a href="http://kekunaan.blogspot.jp/2012/07/prasasti-taji-gunung.html">http://kekunaan.blogspot.jp/2012/07/prasasti-taji-gunung.html</a> &gt;</p>			

D.7	Tulang Air I (Candi Perot I)	A.D. 850
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Candi Perot, Taji, Prambanan, Jateng



<110716-026>

サカ歴 772 年(西暦 850 年 6 月 15 日)の日付がある Tulang Air 石碑は 1819 年に candi Perot で発見された。この碑文は古代ジャワ語で書かれており、Tulang Air 集落の聖堂の為に Rakai Patapan Pu Manuku が行った宣誓である。Rakai Patapan Pu Manuku は Rakai Pikatan が支配していた古マタラム王国の高官であった。Tulang Air 碑文は王の下の官吏の名前を含んだ最古のものである。当時治世を敷いていたのは Rakai Pikatan (Februari 847/西暦 855 年 5 月 27 日)であった。古マタラム王国の別な王も Prambanan 寺院を建てた。Temanggung 地域でいまだに有名な Pikatan と同地域に古代の考古学遺跡が多数あることからこの地域は Rakai Pikatan に支配されていた可能性が高い。


国立博物館の収納石碑

D.8	Penampihan	A.D. 1460	北
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Gunung Wilis, Tulungagung, Jatim	
			
<110716-057>			
No detail			

D.9	Hantang	A.D. 7 Sept 1135
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Ngantang, Malang, Jatim
		
<110716-032>		<110717-002>
<p>Hantang 石碑、別名 Ngantang 石碑は Panjalu Jayati(Kadiri が勝利した)の象徴である。この石碑は、Janggala 国と戦をしていた時 Kadiri に忠誠であった Ngantang 村の村民たちへの褒美として建設されたものである。この石碑から Jayabaya 王が Janggala 国を滅ぼすことに成功し Kadiri 国を再統一したことが理解できる。&lt;wikipedia&gt;</p> <p>Hantang 碑文は、「栄光の勝利」を意味する Narasinga の紋章を大きく横切って正方形の文字を用いて書かれているところに特徴がある。この碑文はジャヤバヤ(ジョヨボヨ)王の支配下に入った Hantang 村以下 12 村落に対する恩恵の下賜を記録しているもの。この碑文は石碑の形を取り、Hantang 村などの地域住民に対して特権を付与したことが盛り込まれている。</p> <p>高僧 Mpungku Naiyayikarsana の手引きで新たに領地に組み込まれた Hantang 村以下 12 村落の住民が、椰子の葉に書かれた Gajapada と Nagapuspa を石碑にコピーするとともに、ジャヤバヤ王の下賜に関することを追加して、仏法を持って治める王の下賜の証としてこの石碑を建ててほしいと王に敬意を持って具申したことがこの碑文に影響している。</p> <p>&lt; <a href="http://kekunaan.blogspot.jp/2012/07/prasasti-hantang.html">http://kekunaan.blogspot.jp/2012/07/prasasti-hantang.html</a>&gt;</p>		



国立博物館の収納石碑

D.10	Wayuku		A.D. 854	新
Unknown	Unknown	Unknown		
				
<110716-123>				
Unknown detail				

D.11	Dien		A.D. 878	新
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Dien, Kejajar, Wonosobo, Jateng		
				
<110716-127>				
No detail				

D.12	Sumengka	A.D. 1059	西
Jawa Kuno	Jawa Pallava	Sumengko, Mojokerto, Jatim	
			
<110716-046>			
<p>内容 免税地に関する布告</p>			

D.14	Sarangan	A.D.929	
Sanskrit	Pallava	Mojokerto, Jatim	
			
<110716-004>			
<p>内容 Hino Pu Sindok 王が Desa Sarangan を免税地にしたことを述べている。 &lt; <a href="http://kekunaan.blogspot.jp/2012/07/prasasti-sarangan.html">http://kekunaan.blogspot.jp/2012/07/prasasti-sarangan.html</a> &gt;</p>			


国立博物館の収納石碑

D.15	Gunung Panganan	A.D. 808	左
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Dieng, Jateng	
Not Available			
内容 誓詞			

D.16	Baru	A.D. 1030	右
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Simpang, Surabaya, Jatim	
			
<110716-012>			
内容 免税地に関する布告			



D.17	Kandangan (Gunung Kidul)	A.D. 906
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Gunung Kidul, DI. Yogyakarta
		
<110716-022>		
内容 免税地に関する布告		

D.18	Gunung Dieng	A.D.808	左
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Dieng, Kedu, Jateng	
			
<110716-065>			
未解読			

D.19	Huwung	A.D. 922	左
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Nanggulan, DI. Yogyakarta	
			
<110716-081>			
<p>Huwung 碑文はサカ歴 744 年(西暦 822 年)の年号がある。                  Sang Watu Walai が Desa Huwung を免税地とするという布告について述べている。                  &lt; <a href="http://kekunaan.blogspot.jp/2012/07/prasasti-huwung.html">http://kekunaan.blogspot.jp/2012/07/prasasti-huwung.html</a> &gt;</p>			

D.20	Telaga Tanjung (Kali Beber)	A.D. 862	左
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Desa Kalibeber , Wonosobo, Jateng	
			
<110716-072>			
<p>植物と幾何学的な文様が装飾されている。</p>			

D.21	Kampak	before A.D. 929	左
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Surabaya, Jatim	
			
<p>&lt;110716-063&gt;</p>			
<p>Kampak 碑文は Pu Sindok の遺物であり、10 世紀頃のものと考えられている。          この碑文は、金属加工職人たちが Prasada Kabhaktyan を維持運営していくために Kampak 地区の水田を免税地にしたという正式な発表に関して述べている。</p>			

D.22	Patakan	11 <sup>th</sup> Century
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Surabaya, Jatim
 <p data-bbox="357 1064 568 1095">&lt;110717-009&gt;</p>		 <p data-bbox="1026 1064 1236 1095">&lt;110717-010&gt;</p>
<p>Patakan 碑文は 11 世紀のアイランガ王の治世に建てられたものと考えられている。          この石碑は、高さ 104cm、上辺 90cm、下辺 80cm で厚さは 24cm である。          この碑文には地域住民が Sanghyang Patahun 聖堂を維持していくために Patakan 地区を免税地          とした公式発表の内容が盛り込まれている。</p>		

D.23	Kambang Putih	A.D. 1028	左
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Tuban, Jatim	
			
<p>&lt;110716-071&gt;</p> <p>内容 Desa Kambang Putih に免税地を与えたことの公式発表。</p>			



D.25	Cane	A.D. 1021	像
Jawa Kuno		Jawa Kuno	Surabaya, Jatim
 <p data-bbox="344 969 552 999">&lt;110716-034&gt;</p>		 <p data-bbox="1010 969 1217 999">&lt;110716-035&gt;</p>	
<p data-bbox="140 1016 1161 1055">Airlangga 王が王国西部の砦として活躍した Desa Cane を免税地とした布告。</p> <p data-bbox="140 1064 1449 1240">&lt;<a href="http://books.google.co.jp/books?id=LReVFTELXcwC&amp;pg=PA245&amp;lpg=PA245&amp;dq=prasasti+cane&amp;source=bl&amp;ots=VXt1IAPqjK&amp;sig=VUJsmBW_CrNk6hyn_His2M-Nr80&amp;hl=ja&amp;sa=X&amp;ei=qSjmUamTLM6ukgXawYHADg&amp;sqi=2&amp;ved=0CC4Q6AEwAQ#v=onepage&amp;q=prasasti%20cane&amp;f=false">http://books.google.co.jp/books?id=LReVFTELXcwC&amp;pg=PA245&amp;lpg=PA245&amp;dq=prasasti+cane&amp;source=bl&amp;ots=VXt1IAPqjK&amp;sig=VUJsmBW_CrNk6hyn_His2M-Nr80&amp;hl=ja&amp;sa=X&amp;ei=qSjmUamTLM6ukgXawYHADg&amp;sqi=2&amp;ved=0CC4Q6AEwAQ#v=onepage&amp;q=prasasti%20cane&amp;f=false</a>&gt;</p>			





D.27&34	Kayumwungan (Karang Tengah)	A.D. 824	
Sanskrit	Jawa Kuno	Karangtengah, Temanggung, Jateng	
		<p>Kayumwungan 石碑は 5 片からなる石碑であり中部ジャワ州 Temanggung 県 Karangtengah 村で発見されたゆえ、Karang Tengah 石碑としても知られている。この石碑は古代ジャワ文字で書かれており、1～24 行目まではサンスクリット語で続く部分は古代ジャワ語である。どちらもサカ歴 748 年(西暦 824 年)の年号がある。</p> <p>サンスクリット語で書かれた部分は Samaratungga という名の王に関するものである。Pramodawardhani という名のその子が Wenuwana という名の建造物をともなう Jinalaya 祠堂を建てた。(Wenuwana とはサンスクリット語で Venuvana 竹林を意味する) この祠堂は Dewa Indra といわれる大王の遺灰を安置するためのものである。この大王とはシャイレンドラ王家の Raja Indra あるいは Dharanindra であろうと思われる。</p>	
<110716-082>			
<p>古代ジャワ語で書かれた部分では、サカ歴 746 年(西暦 824 年)の Jyestha の月 10 日に Patapan pu Palar 王子が Kayumwungan 地区の水田をこの祠堂のために免税地としたと公布した。</p> <p>カスパリ(de Casparis)はこの祠堂を Mendut 祠堂と結びつけ、一方 Soekmono は u 名前の類似性から Ngawen 祠堂と結びつけた。この祠堂は Jinalaya 祠堂と呼ばれており、ボロブドゥール寺院に類似している。 &lt;from wikipedia&gt;</p>			
<p>&lt;碑文内容&gt;</p> <p>サマラトゥンガ王にはプラモダワルダニという王女がいた。プラモダワルダニ姫はたいそう美しいジナラヤを建立した。建設された祠堂にサカ歴 746 年(西暦 824 年)に神像を納めた。地上に舞い戻るラーフを怖がらせるために、この神像は満月のように光り輝いた。その後、若者の協力と年寄の手によって建てられた美しい祠堂の基台に神像を持ち上げた。</p> <p>願わくば、このジナ祠堂建設の恩恵が、仏の十界に届くことができますように。私のみならず私の後継者たちもこの達成するには困難なレベル、最高レベル、に到達できることを願う。メル山に神々がお住まいになっている間、太陽が数千の人々の生命のために天空で輝く間、この建造物が立っている限り仏陀の優越性が満ちることを願うものである。</p>			

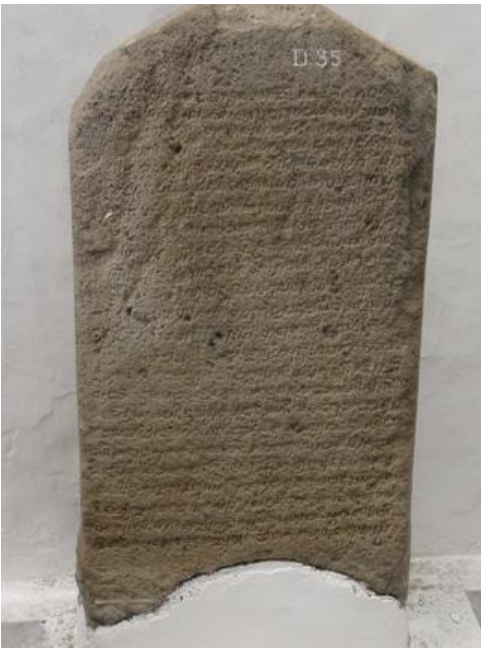
D.28	Siwagrha (Sivagrha) Balaputra-Jatiningrat	A.D. 856	新
Unkown	Unkown	Unkown	
 <p data-bbox="284 1066 491 1099">&lt;110717-042&gt;</p>	<p data-bbox="655 327 1449 645">Siwagrha 石碑は中部ジャワのメダン王国の石碑であり、サカ歴 778 年(西暦 856 年)の年号がある。この石碑は Lokapala 殿下(Kayuwangi 王子)の命で Pikatan 王子の治世が終わってすぐ建てられたものである。この石碑は Shivagrha(サンスクリット語で「シヴァの家」の意)と呼ばれたシヴァ神に捧げられた寺院群の由来を述べており、この寺院はプランバナナ寺院群とその特徴が酷似している。〈from wikipedia〉</p>	<p data-bbox="655 685 788 719">第 1-9 段</p> <p data-bbox="655 752 1449 1122">ヒンドゥー教を信仰していたジャティニングラットという名の王は異教のお妃と結婚した。(ここでは Walaputra と呼ぶ) バラプトラはジャティニングラットとの戦いの中で隠れるためと防衛のための砦を作るために数百個の石を積み上げた。その王はブラフマナ・ジャティニングラットと称し、マムラティ地方のメダンに王宮を建設した。その後同王は退位しロカパラ王子に王権を委譲した。国民は四か所の宿舎に分けられ、それぞれのグループはブラフマナがその長となった。</p>	
	<p data-bbox="140 1144 301 1178">第 10-13 段</p>	<p data-bbox="328 1144 1449 1357">同王は葬儀を執り行う準備を行った。マムラティ殿下はワンティル地域を引き渡した。彼は、以前イウン集落が戦場となったことを恥じていた。彼がその地域の支配と繁栄に成功した後、葬送の祠堂を建設し徳と不徳に関する知識を集めた。彼に逆らおうとするものは一人としていなかった。同王はリングを建てた。その美しいリングの建設のために全ての人々が寄付を行った。</p>	<p data-bbox="140 1379 301 1413">第 14-17 段</p> <p data-bbox="328 1379 1449 1603">この部分は建設されたリングについて説明している。建造物の安全を守るために極めて勇敢な守護神像が門にある。入口には互いに形の異なる二つの建造物が建てられた。リングの建っている広場には Bunga Tanjung (ミサキノハナ)が植えられ、そこには瞑想をする人たちのためにいくつかの小屋が建てられた。この建造物は壮麗である。</p>
<p data-bbox="140 1626 301 1659">第 18-23 段</p>	<p data-bbox="328 1626 1449 1749">建物の中の最も美しい部屋は神々のために用意された。訪問者と礼拝者たちは尊敬と静寂さを共に列をになって立っている。全ての人々が礼拝のために訪れることを望まれている。</p>	<p data-bbox="140 1771 301 1805">第 24-29 段</p> <p data-bbox="328 1771 1449 1984">その竣工式はサカ歴 778 年の大月の 11 日ワゲの火曜日であった。この建物がすべて完成した後、川を付け替え、その土地は祠堂のものとなった。これがパムガット・ワンティル免税地である。(役人の名前と地位が続いている)この免税地は祠堂の所有地となった。祠堂の守護のための義務を与えられた人たちは、まじめにかつ勇敢に祈禱を行い、永遠に繰り返す生死の輪廻から解脱することを望んだのであった。</p>	



D.31	Taji	A.D. 1204	右
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Magetan, Madiun, Jatim	
 <p>&lt;110717-025&gt;</p>		 <p>&lt;110717-031&gt;</p>	
No detail			



D.32	Janggala	A.D. 1385	新
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Surabaya, Jatim	
 <p style="text-align: center;">D.32</p> <p style="text-align: center;">&lt;110716-132&gt;</p>		 <p style="text-align: center;">D.32</p> <p style="text-align: center;">&lt;110716-133&gt;</p>	
<p>Janggala は Isyana 一族の Airlangga が率いていた Kahuripan 王国が二人の王子に分割されてできた王国である。この王国は 1045 年に建国され、1330 年代に滅亡した。この王国の都は現在の Sidoarjo 地域にあったと考えられている。&lt;wikipedia&gt;</p>			

D.33	Sri Sastraprabhu (Sirah Keting)	A.D. 1204	左
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Desa Sirah Keting, Ponorogo, Jatim	
			
<110716-084>			
内容は未解読			

D.35	Java Central (Jawa Tengah)	A.D. 878	
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Jateng	
			
<110716-006>			
No detail			

D.36	Timbanan Wungkal (Gatak)	Unknown	新
Unknown	Unknown	Unknown	
			
<110716-137>			
Unknown details			

D.37	Kawambang Kulwan	A.D. 992	
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Sendang Kamal, Maospati, Madiun, Jatim	
			
< <a href="http://kekunaan.blogspot.jp/2012/07/prasasti-kawambang-kulwan.html">http://kekunaan.blogspot.jp/2012/07/prasasti-kawambang-kulwan.html</a> >			
<p>石碑は、高さ 187 cm、幅 105 cm、厚さが 92cm ある。</p> <p>いくつかの部分が大きく損傷しているためこの碑文の解読に困難を来しており、解読できた部分はわずかである。</p> <p>J.L.A. Brandes が解読に挑戦し、表側の最初の 12 行だけとはいえ碑文を解読できた。</p>			

D.38	Prapancasapura	A.D.1343	左
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Surabaya, Jatim	
 <p data-bbox="331 969 544 1003">&lt;110716-091&gt;</p>		 <p data-bbox="997 969 1209 1003">&lt;110716-090&gt;</p>	
Unknown details			

D.39	Tri Tepussan II (Candi Petung II)	A.D. 842	左
Unknwon	Unknwon	Unknwon	
 <p data-bbox="692 992 901 1025">&lt;110716-064&gt;</p>			
<p>Tri Tepusan 石碑は、Sri Kahulunan が 842 年に Kamulan I Bhumisambhara(多分現在ボロブドゥールと呼ばれている)聖所の維持管理のために Tri Tepsan 村の土地を寄進したと述べている古マタラム王国時代の石碑である。この複製はボロブドゥール博物館に収納されている。</p>			



D.40	Mantyasih II/Balitung Charter/Kedu	A.D. 907
Unknown	Unknown	Mantyasih, Magelang, Jateng



<110716-070>

Mantyasih 石碑(Balitung charter あるいは Kedu 石碑)は中部ジャワ州、北マゲラン、Mateseh 村で発見された重要な石碑である。石碑には 907 年の年号があり、古代 Medang 王国である Sanjaya 王朝の Balitung 王が建てたとある。この石碑には Balitung 王以前の Medang 王国の諸王について書かれている。

この石碑では、balitung 王が Mantyasih 村をこの祠堂のための免税地としたと述べている。今日の Manteseh 村には儀式に用いられたと信じられている石積みがいまだに見られる。さらに Mount Susundara と Wukir Sumbing (現在の Mount Sundoro と Sumbing)の二つの山について記されている。

この碑文には八人の王の名前が刻まれている。これらの王の名の記載は Rahyang ta rumuhun ri Medang ri Poh Pitu(ポー・ピトゥーのムダンを支配した先立つ首長たち)の文に先行している。これらの八人の王は以下の通り。

1. Sang Ratu Sanjaya, rakai Mataram
2. Sri Maharaja rakai Panangkaran
3. Sri Maharaja rakai Panunggalan
4. Sri Maharaja rakai Warak
5. Sri Maharaja rakai Garung
6. Sri Maharaja rakai Pikatan
7. Sri Maharaja rakai Kayuwangi
8. Sri Maharaja rakai Watuhumalang

D.43	Jawa Tengah	Unknown
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Jateng
		
<p>&lt;110817-028&gt;</p>		
<p>内容 免税地に関する布告</p>		

D.44	Kelurak	A.D. 782	新
Sanskrit	Pranagari	Kelurak, Magelang, Jateng	
			
<p>&lt;110716-119&gt;</p>			
<p>Kelurak 石碑はサカ歴 704 年(西暦 782 年)の年号があり、Pranagari 文字でサンスクリット語で書かれている。この石碑は、中部ジャワのプランバナナ寺院のはるか北に位置する Kelurak 村にある Lumbung 祠堂の近くで発見された。碑文はいくつかの部分が不明瞭で解読できないほどに傷んでおり、考古学者がこの碑文の主な情報をようやく解読できたほどである。</p> <p>この石碑は文殊菩薩像を収めるための聖なる建造物について述べている。この聖なる建造物は、正式名 Sanggramadhananjaya の Indra 王の命令で建てられたものである。この仏教寺院にあるヒンドゥーの神々は金剛乗とタントラ乗の影響があることを意味している。文殊菩薩に捧げられた寺院はプランバナナ寺院群から北にそれほど離れてはいない Sewu 寺院と同様だと考えられている。</p>			



D.45	Salimar I (Prambanan)	A.D. 880	北
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Prambanan, Jateng	
			
<p>&lt;110716-058&gt;</p>			
<p>内容 免税地に関する布告</p>			

D.46	Salimar II (Nanggulan II)	A.D. 880	
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Slamen, Di. Yogyakarta	
			
<p>&lt;110717-037&gt;</p>			
<p>この石碑は古マタラム王 Sri Maharaja Rakai Kayuwangi Dyah Lokapala が判事で宗教法務部長である Sang Pamgat Balakas に森林であったこの土地を褒美として下賜したことを表している。</p> <p>Salimar の森は特別な土地であり、この地域の土地は免税され、王国から貸し与えられたものである。それ故、Salimar は免税地として知られている。Salimar の森自身は Kandang と Pakuwani 村に挟まれている。</p> <p>特別な印象を与えるのは、王がこの森の周りに六本の標柱を設置したことである。この表中は現在 Salimar 石碑として知られている。この標柱には、古代ジャワ文字を使って、特別な印の村長の名前が見られる。</p> <p>国立考古学研究所の金石学の専門家である Titi Surti Nastiti によれば、標柱はこの地域に八本あるはずとのこと。この森を挟んでいる kandang と Pakuwani の二つの村は各々四本の標柱があるはずだからである。しかし、現在まで発見されたのは六本である。</p> <p>この Salimar の森は発展して住宅地になっている。Salimar の森は Yogyakarta の Sleman になったということである。</p> <p>&lt;<a href="http://nationalgeographic.co.id/berita/2012/09/manifestasi-prasasti-salimar-dalam-dunia-pe ndidikan">http://nationalgeographic.co.id/berita/2012/09/manifestasi-prasasti-salimar-dalam-dunia-pe ndidikan</a>&gt;</p>			

D.51	Srago	9 <sup>th</sup> century	北
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Klaten, Jateng	
<p>Not Available</p>			
<p>No detail</p>			

D.54	Balingawan (Singasari)	A.D. 891
Unknown	Unknown	Pakis, malang Jatim
		
<p>&lt;110717-037&gt;</p>		
<p><b>碑文の内容</b></p> <p>サイトによって少しずつ記事が異なるので、調べた全てを掲載する。</p> <p>rah kasawar と wanke kabunan に対する罰金をあまりに頻繁に払っていたので、このところ Balingawan 村民は不安であった。rah kasawar とは流血をとまなう喧嘩であり、wanke kabunan とは露に濡れた死体を意味している。というのは、暴行殺人犯の身元は分からないが、殺人事件が夜に起きて、被害者はそのまま放置されたので朝露に濡れていたからである。Sukhaduhkha と呼ばれている碑文の一部分に、各種の一般的な犯罪行為が見られる。この語は人々の悪行も善行という全ての行為を含んでいる。</p> <p>&lt;<a href="http://dir.groups.yahoo.com/group/smp1_mojokerto_97/message/435?threaded=1&amp;var=1">http://dir.groups.yahoo.com/group/smp1_mojokerto_97/message/435?threaded=1&amp;var=1</a>&gt;</p> <p>この碑文は Desa Balingawan の一区画の土地を免税地に決定したことが盛り込まれている。この碑文は、村民たちが暴行殺人事件を恐れ、暴行殺人事件に対する罰金の支払いのために貧困に陥って悩んだために建てられたものである。古代ジャワの法律で、犯罪行為が行われた現場、たとえ他の場所で行われても死体が発見された場所、の利害関係がある村が厳しい制裁を受けることになっており、それは罰金あるいは税金の形で王に納入された、という事案が起きた。なぜこのような事件が起きたのであろうか。</p> <p>この件は、その上にある政府組織にぶら下がった村の行政組織の構造に深く関係していたため、地方の治安が不安定になっていた。最終的には、村の陳情は受け入れられた。Desa Balingawan は免税地となり、街道の治安は良くなり、村人たちは二度と恐怖を感じなくなった。</p> <p>&lt; <a href="http://kepleset.blogspot.jp/2011/09/premanisme-sejak-zaman-jawa-kuno.html">http://kepleset.blogspot.jp/2011/09/premanisme-sejak-zaman-jawa-kuno.html</a> &gt;</p>		

Balingawan 碑文 (Brandes, Oud~Jav. Oork. XIX ; Damais, art. cit., pp. 42-43 ; Sarkar, Corpus, I No. LVI, pp. 295-305) は、五角形の石碑とガネッシャ像の台の裏側に続いている。この碑文はシンゴサリで発見されジャカルタに移送された。ブランデスはこの石碑に D.54 のコードを与え、一方、ほぼ間違いなくシンゴサリから移送されたと思われるガネッシャ像の方はマランにある華人の墓地で発見された。この像はこの国立博物館に収納され D.109 のコードが与えられている。

この碑文は Gurubhakti の畑地である Desa Balingawan の一区画の土地が Ḍapunta Ramyah, Ḍapu Hyanj Bharatī, Ḍaman Tarṣa, と Ḍapu Jala によって、Rakryān Kanuruhan pu Huntu. からの下賜としての免税地とされた。

これは村の管轄下にある Gurubhakti の畑に暴行を受けた死体が頻繁に放置されていたため、村に罰金を払う義務があるとされた。それ故、免税地として村の管轄から除外したのである。

Balingawan の地名は変化して Mangliawan となっており、マラン県パキス郡の一部となっている。

Mangliawan 村はマラン市と Tumpang の中間に位置し、考古学遺跡が密集している。

< <http://ngalam.web.id/read/724/prasasti-balingawan/> >

D.57	Dieng No. 8 and 9	A.D. 809	
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Dieng, Jateng	
Not Available			
内容 免税地に関する布告			

D.58	Sri Manggala I	A.D. 874	左
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Dieng, Jateng	
			
<110716-066>			
内容 免税地に関する布告			

D.59	Anjuk Ladang (Candi Lor)	A.D. 10 April 937	左
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Candirejo, Loceret, Nganjuk, Jatim	



<110716-062>

Anjukladang 石碑はサカ歴 859 年(西暦 937 年)の年号がある。残念なことにこの石碑は特に上の部分において刻まれた文字が磨滅していてすべてを読み取ることができないが、残された文字から見てこの石碑は次のように述べているようである。

Pu Sindok 王は、Anjukladang 村の kakatikan の水田地域を免税地とし、Sri Jayamerta のバタラ神の祈禱所と Samgat Anjukladang からのダルマを寄進した。

J.G. de カスパリによれば、その当時既に Nganjuk 付近に移動したてた古マタラムに攻め込んだ Malayu (Sumatra) 軍を追い払うために Pu Sindok 指揮のもとに入り王国軍の手助けをした事から Anjukladang 村民には王からの恩賜があった。この大きな貢献で Pu Sindok はその後、王に持ち上げられた。それ以外には、この石碑は聖堂の存在に関して述べている。“Some Notes on Transfer of Capitals in Ancient Sri Lanka and Southeast Asia”という題の論文の中で、その碑文の中、Malayu 王の攻撃に耐えることができた後で Pu Sindok 王が勝利の塔(jayastambha)を建て、西暦 937 年にこの勝利の塔は祠堂に変更された、とカスパリは述べている。この碑文に述べられている「聖堂」とは、赤レンガで作られ東ジャワ州 Nganjuk 県の Berbek に近い Loceret 郡 Candirejo 村にある Candi Lor である可能性が高い。<wiki>

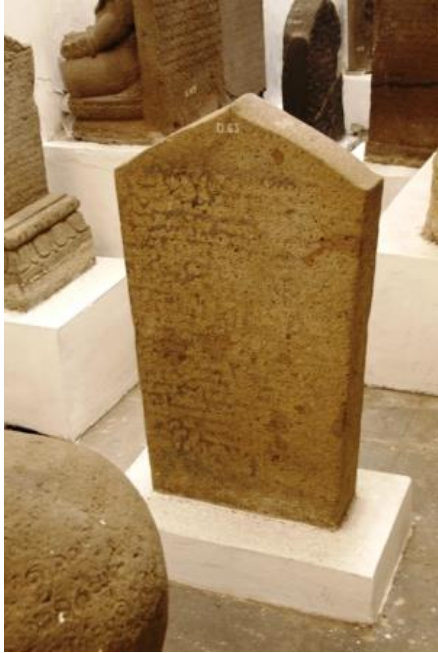

参考

< <http://kekunaan.blogspot.jp/2012/05/prasasti-anjukladang.html> >

D.60	Madiun		A.D. 1469	北
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Madiun, Jatim		
				
<110716-060>		<110716-061>		
<p>内容は angka tahun(年号)</p>				

D.62	Pendem		A.D. 881	
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Desa Pendem, Jateng		
				
<110716-073>				
<p>内容 Desa Pendem 免税地に関する布告</p>				



D.63	Pendem II (Turu Mangambil)	A.D. 908	左
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Purworejo, Jateng	
 <p data-bbox="363 1016 576 1048">&lt;110716-076&gt;</p>		 <p data-bbox="1031 1016 1243 1048">&lt;110716-075&gt;</p>	
<p data-bbox="140 1068 209 1099">内容</p> <p data-bbox="140 1113 612 1144">Desa Pendem 免税地に関する布告</p>			




D.66	Kinawe (Tanjung Kalang)	A.D.928	
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Berebek, Nganjuk, Jatim	
 <p data-bbox="352 969 563 1003">&lt;110716-021&gt;</p>		 <p data-bbox="1018 969 1228 1003">&lt;110716-022&gt;</p>	
<p>Tanjung Kalang 石碑は Nganjuk の Berebek 地域出土で、最初に Hoepermans が Hindoeoudheden van Java (1864-1867)で報告した。その後、1889 年に Notulen に記録され、1909 年に Roffaer が D.66 のコードを与えた。この碑文は 13 行から構成され、サカ歴 849 年とあり、政府高官 Rake Gunungan Dyah Muatan が Dyah Bingah という名の母親と共に建てたものである。その中では、rakriyan Mapatih Mpu Sindok Isana Wikrama という名の高官の名前と共に Wawa 王の名前が述べられている。碑文に述べられている村の名前をもとにして Kinawe 石碑とも呼ばれている。この石碑は西暦 928 年 11 月 28 日に建てられたものである。(Damais, 1952 : 55; 1955 : 53-54).</p> <p>この石碑は、desa (wanua) Kinawe watek Kadangan を免税地とすると公布したものである。(wikipedia)</p> <p>内容 免税地に関する布告</p>			

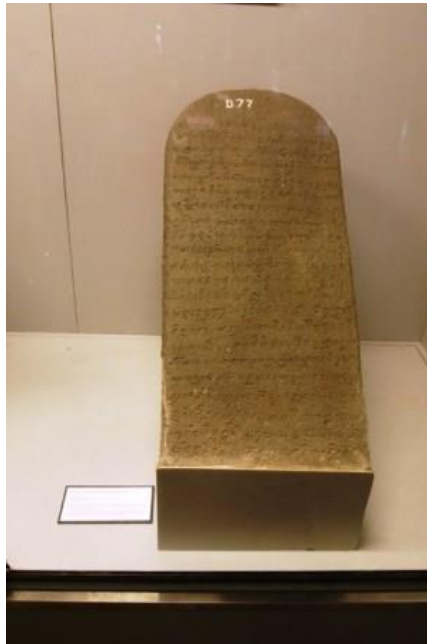
D.67	Sepanda (Hering)	A.D.1242	西
Jawa Kuno	Pallava	Kujun Manis, Kediri, Jatim	
 <p data-bbox="347 967 555 1003">&lt;110716-053&gt;</p>		 <p data-bbox="1008 967 1225 1003">&lt;110716-054&gt;</p>	
<p data-bbox="140 1016 1449 1283">この石碑は 1869 年に Desa Kujon Manis, Warujayeng, Kediri で発見された。          この石碑はサカ歴 856 年(西暦 934 年)に建てられたものだとダマイスは言っている。          この碑文の布告は長文であり、表面に 35 行、裏面は 11 行から 38 行、左側面には 45 行が、右側面には 47 行が書かれている。内容を端的に言うと、Sri Maharaja Pu Sindok Sri Isanawikrama Dharmmotunggadewa が Desa Hering の水田を免税地としたものである。          &lt; <a href="http://kekunaan.blogspot.jp/2012/07/prasasti-hering.html">http://kekunaan.blogspot.jp/2012/07/prasasti-hering.html</a> &gt;</p>			

D.70	Jeru-jeru	A.D. 930	
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Singasari, Malang, Jatim	
 <p data-bbox="347 965 560 999">&lt;110717-020&gt;</p>		 <p data-bbox="1011 965 1224 999">&lt;110717-021&gt;</p>	
<p data-bbox="129 1014 1463 1099">Jeru-jeru 石碑にはサカ歴 852 年(西暦 930 年)の日付がある。この石碑は東ジャワ州の Singasari 地域で発見され、上の写真のように国立博物館に収納されている。</p> <p data-bbox="129 1111 1463 1196">この石碑は、Rakryan Hujung Pu Madhura が Isanawikramadharmottungadewa 王に Jeru-jeru 地域を免税地として申請したと述べている。</p> <p data-bbox="129 1207 1031 1245">&lt; <a href="http://kekunaan.blogspot.jp/2012/07/prasasti-jeru-jeru.html">http://kekunaan.blogspot.jp/2012/07/prasasti-jeru-jeru.html</a> &gt;</p>			

D.73	Sanghyang Tapak	A.D. 1030
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Cibadak, Sukabumi, Jabar
		
<p>&lt;110716-001&gt;</p>		
<p>Sanghyang Tapak 石碑(Jayabupati 石碑、Cicatih 石碑)はサカ歴 952 年(西暦 1030 年)の年号が入っており、4 基の石碑に 40 行の碑文が書かれている。(上記以外の三基は D.96, D.97 &amp; D.98 参照) この四基の石碑は西ジャワ州 Sukabumi 県 Cibadak 郡の Cicatih 川岸で発見されたものである。このうち三基は Kampung Bantar 付近で、残る一基は Kampung Pangcalikan で発見された。この碑文は古代ジャワ文字で書かれている。この四基の石碑は国立博物館に保護されている。コードは D 73 (Cicatih), D 96, D 97, D 98 である。以下は碑文の和訳</p> <p>平和で良きことを。サカ歴 952 年 Kartika の月 12 日、Hariang の日の Kaliwon、Wuku Tambir。本日スンダの大王 Sri Jayabupati Jayamanahen Wisnumurti Samarawijaya Sakalabuwanamandaleswaranindita Haro Gowardhana Wikramottungadewa は Sanghiyang Tapak の東部に足跡を置いた。スンダ王国の王の Sri Jayabupati によって造られたものである。誰一人としてこの決まりを破ってはならない。川の上流部に位置する Sanghyang Tapak の聖域付近で魚を取ってはならない。Sanghyang Tapak の聖域の境は二本の巨木が目印である。この旨この石碑に書き記すものとする。スンダ王国の誓いと共に。</p> <p>この王の誓いは四番目の石碑(D.98)に書かれており、20 行で構成されている。</p> <p>王の誓いは王の命令に従い守ための全ての超能力、天地の神に向けての祈願である。この法を破るものは誰でも、脳みそを吸い出されたり、血を飲まれたり内臓を抜き出されたり、胸を二つに切り裂かれる超自然界からの罰を受けるだろう。</p> <p>この碑文はこの言葉で終わっている”I wruhhanta kamung hyang kabeh”「ご存知なのは神々である」</p> <p>Sanghyang Tapak 聖堂の竣工碑文である</p>		

D.74	Gunung Wule (Brahol)	A.D. 861	
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Wonosobo, Jateng	
 <p data-bbox="692 779 903 808">&lt;110716-085&gt;</p>			
<p>内容 免税地に関する布告</p>			

D.77	Wukiran (Pereng)	A.D. 863
Sanskrit	Jawa Kuno	Pereng, Prambanan, Klaten Jateng




<110716-129>


Boechariによれば、Rakai Kayuwangi を攻撃したのは Rakai Walaing Pu Kumbhayoni である。この Rakai Walaing は Ratu Boko の丘で発見された 7 基の石碑から知られている。一基は Pereng から、もう一基は Dawangsari から、三基は Ratu Boko の宮殿のテラスのあずまやから、残る二つの発見場所は不明。一つの碑文にはサカ歴 773 年(西暦 856 年)の記載がある一方、Pereng 碑文はサカ歴 784 年(西暦 863 年 1 月 25 日)の日付がある。

< <http://goenaar.blogspot.jp/2009/06/tujuh-prasasti-dari-ratu-boko-ratu-boko.html> >

上記の写真は Pereng 出土の石碑である。



D.79	Kanten		Unknown	南
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Ponorogo, Jatim		
				
<110716-040>		<110716-041>		
内容 誓詞				

D.80	Tulang Air II (Candi Perot II)		A.D. 850	
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Temanggung, Jateng		
				
<110717-029>				
内容 免税地に関する布告				



D.81	Wanua Tengah I (Candi Argapura I)	A.D. 863	左
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Temanggung, Jateng	




<110716-083>

Rakai Kayuwangi が建てた石碑である。アグラプラ碑文は途中で解読が中断しているにもかかわらず O.J.O. no. VIII に収納されている。ダマイスはこの碑文を Wanua Tengah と呼んでいるが、アルガプラ碑文では、ピカタン・プ・マヌク殿下とカユワギ・プ・ロカパラ殿下の名前が読み取れる。この事実はカユワギ殿下とプ・ロカパラの同一性を証明している。


内容

Wanua Tengah 免税地に関する布告

D.82	Plaosan	9 <sup>th</sup> century	北
Sanskrit	Pranagari	Plaosan, DI Yogyakarta.	
			
<110716-055>			
Unknown detail			


D.83	Sungih Manek	A.D.915	北
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Malang, Jatim	
Not Available			
内容 免税地に関する布告			



国立博物館の収納石碑

D.86	Tuban		Unknown
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Tuban, Jatim	
			
<110716-020>			
内容 (王の)行脚・行幸			

D.87	Sungih Manek (Singasari)		A.D. 915
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Malang, Jatim	
			
<110716-016>			
内容 免税地に関する布告			


D.88	Gulunggulung(Singasari)	20 April 929	左
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Malang, Jatim	
 <p data-bbox="363 969 576 1003">&lt;110716-069&gt;</p>		 <p data-bbox="1026 969 1238 1003">&lt;110716-068&gt;</p>	
<p data-bbox="140 1016 1374 1099">929年4月20日の日付のある Gulung-Gulung 石碑は東ジャワ州 Singasari で発見され OJO XXXVIII にその記事が以下のように掲載されている。</p> <p data-bbox="140 1111 1449 1290">サカ歴 851 年 Baicaka の月 9 日 Cuklapaksa に Rakryan Hujung Pu Maduraloka が CriMaha Raja Rake Halu Pu Sindok に Gulung-Gulun の土地を Sima に寄進することを奏上した。さらに Bantalan にある森林の半分の追加寄進を奏上した。上記の両地域とも SangHyang Prasada i Hemad という名の聖堂の維持管理用の年貢を納める土地とした。</p> <p data-bbox="140 1350 209 1384">内容</p> <p data-bbox="140 1395 424 1429">免税地に関する布告</p>			

D.89	Surabaya	9 <sup>th</sup> century	西
Sanskrit	Pranagari	Surabaya, Jatim	
			
<110716-052>			
Unknown details			

D.90	Kota Kapur	A.D. 686	新
Malayu Kuno	Pallava	Bangka, Riau	
 <p data-bbox="363 969 574 1003">&lt;110717-040&gt;</p>		 <p data-bbox="1034 969 1244 1003">&lt;110717-041&gt;</p>	
<p data-bbox="130 1016 1463 1196">Kota Kapur 石碑は、Bangka 島で発見された Sriwijaya 石碑である。この石碑は発見された小さな村落の名“Kota Kapur”が付けられている。この碑文は Pallava 文字で古代マレー語で書かれており、マレー語で書かれた最古の文書の一つである。この石碑は J.K. van der Meulen が 1892 年 12 月に発見したものである。</p> <p data-bbox="130 1207 1463 1388">この石碑は、バタビアの Bataviaasch Genootschap で働いていたオランダの金石文の専門家である H. Kern によって解析された。当初彼は Sriwijaya を王の名前だと解釈していた。George Coedes がその後 Sriwijaya とは、協力でインドネシアの列島西部地域とマレーシアとタイ南部を支配下において 7 世紀におけるスマトラの大王国の名前であることを表明した。&lt;wikipedia&gt;</p>			



D.93	Munggu Antan (Bulus)	A.D. 887	新
Sanskrit	Sanskrit	Bulus Balak, Kedu, Jateng	
			
<110716-116>			
<p>サカ歴 808 年(西暦 976 年)の日付がある Munggu Antan 石碑は中部ジャワ Kedu、Bulus Balak で発見された。この碑文はサンスクリット語でサンスクリット文字で書かれており、リングの形状を持ち、高さが 70cm 直径が 24cm である。</p> <p>その他は不明。</p> <p>&lt; <a href="http://kekunaan.blogspot.jp/2012/07/prasasti-munggu-antan.html">http://kekunaan.blogspot.jp/2012/07/prasasti-munggu-antan.html</a> &gt;</p>			

D.95	Piling Piling	A.D. 996	
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Dinoyo, Malang, Jatim	
			
<110716-017>			
Unknown details			



D.96, D.97 & D.98		Sanghyang Tapak		A.D. 1030
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Bantar Muncang, Cibadak, Sukabumi, Jabar		
				
D.96 <110716-130>	D.97 <110716-015>	D.98<110717-029>		
<p>Sanghyang Tapak 石碑(Jayabupati 石碑、Cicatih 石碑はサカ歴 952 年(西暦 1030 年)の年号が入っており、4 基の石碑に 40 行の碑文が書かれている。(上記の三基以外の一基は D.73 参照) この四基の石碑は西ジャワ州 Sukabumi 県 Cibadak 郡の Cicatih 川岸で発見されたものである。このうち三基は Kampung Bantar 付近で、残る一基は Kampung Pangcalikan で発見された。この碑文は古代ジャワ文字で書かれている。この四基の石碑は国立博物館に保護されている。コードは D 73 (Cicatih), D 96, D 97, D 98 である。以下は碑文の和訳</p> <p>平和で良きことを。サカ歴 952 年 Kartika の月 12 日、Hariang の日の Kaliwon、Wuku Tambir。本日スンダの大王 Sri Jayabupati Jayamanahen Wisnumurti Samarawijaya Sakalabuwanamandaleswaranindita Haro Gowardhana Wikramottunggadewa は Sanghiyang Tapak の東部に足跡を置いた。スンダ王国の王の Sri Jayabupati によって造られたものである。誰一人としてこの決まりを破ってはならない。川の上流部に位置する Sanghyang Tapak の聖域付近で魚を取ってはならない。Sanghyang Tapak の聖域の境は二本の巨木が目印である。この旨この石碑に書き記すものとする。スンダ王国の誓いと共に。</p> <p>この王の誓いは四番目の石碑(D.98)に書かれており、20 行で構成されている。</p> <p>王の誓いは王の命令に従い守ための全ての超能力、天地の神に向けての祈願である。この法を破るものは誰でも、脳みそを吸い出されたり、血を飲まれたり内臓を抜き出されたり、胸を二つに切り裂かれる超自然界からの罰を受けるだろう。</p> <p>この碑文はこの言葉で終わっている”I wruhanta kamung hyang kabeh”「ご存知なのは神々である」</p> <p>内容 聖堂の竣工記念碑文</p>				

D.103	Linggasuntan (Lawajati)	A.D. 929	
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Lawajati, Singosari, Malang, Jatim	
 <p data-bbox="694 974 901 1008">&lt;110716-077&gt;</p>			
<p>Brandes よると、この Linggasuntan 石碑は東部ジャワ Malang 県 Singosari の Lawajati で発見されたものである。この碑文は相当に磨滅した状態でいくつかの文字がよく読めない。石碑の一部は損傷しており、Brandes の翻訳では 25 行目までしかないとのことである。この石碑は丁度なかばで折れている。碑文の内容はサカ歴 851 年 Bhadrawada の月 12 日 Krsnapaksa(西暦 929 年 9 月 3 日)に Sri Maharaja Rake Hino pu Sindok Sri Isanawikramadharmmotunggadewa が Samgat Madander pu Padma と Samgat Anggohan pu Kundala に、Linggasuntan 集落の収穫を全て Bhatara i Walandit(Walandit の守護神)に年貢として納めるために Hujung 地域に含まれる Linggasuntan 集落を免税地域にするように命令を出した。</p>			
<p>Linggasuntan の名前は現在は失われた集落の名前であると思われる。この集落は植民地の一つである i tpi siring としての Blandit 村からそれほど遠くない(約 5km)。</p>			
<p>内容 免税地に関する布告</p>			

D.107	Tri Tepuasan I (Candi Petung I)	A.D. 842
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Magelang, Jateng
		
<p>&lt;110716-010&gt;</p>		
<p>Tri Tepuasan 石碑は、Sri Kahulunan が 842 年に Kamulan I Bhumisambhara(多分現在ボロブドゥールと呼ばれている)聖所の維持管理のために Tri Tepsan 村の土地を寄進したと述べている古マタラム王国時代の石碑である。この複製はボロブドゥール博物館に収納されている。</p> <p>内容 免税地に関する布告</p>		

D.109	Balingawan (Singasari)	A.D. 891
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Singasari, Malang, Jatim
<p>Not Available</p>		
<p>ガネッシャ像に刻まれた碑文。その他不明</p>		

D.111	Singhasari	A.D. 1351	新
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Singasari, Malang, Jatim	
			
<p>&lt;110716-134&gt;</p>			
<p>西暦 1351 年の日付のある Singhasari 石碑は東部ジャワ Malang 県 Singasari で発見された。この碑文はジャワ文字で書かれている。</p> <p>この碑文は、Mahapatih Gajah Mada が行った墓地祠堂の竣工を知らしめるために書かれたものである。</p> <p>この碑文の前半は極めて込み入った記載方法で書かれた年号であり、空にあるものが描かれている。後半は、この祠堂の告示としてのこの碑文を意味を表している。&lt;wikipedia&gt;</p> <p>内容 聖堂の竣工記念碑文</p>			

D.112	Candi Singasari	A.D. 1254	左
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Malang, Jatim	
<p>Not Available</p>			
<p>Unknown detail</p>			

D.113	Kanjuruhan/ Dinoyo	A.D. 760	新
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Karangbeski, Malang, Jatim	



<110716-112>

Kanjuruhan 石碑(Dinoyo 石碑)は Malang 市の Karangbesuki 地域(Candi Badut の近く)で発見された。この石碑は、八世紀に Metro 川岸に Kanjuruhan 王国が建国されたと述べている。九世紀に入って中部ジャワの古マタラム国の領土拡張に伴い、kanjuruhan の都も Brantas 川に近い Dinoyo と Tlgomas のある北に移動した。その時に Kanjuruhan は既にマタラム国の支配下にはいていたのである。


内容


Badut 祠堂の竣工記念碑文

国立博物館の収納石碑




D.114	Dinoyo		A.D. 760
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Malang, Jatim	
			
<110716-089>			
<p>内容                  聖堂の竣工碑文である。その他は不明</p>			

D.118	Krawang		Unknown	北
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Krawang, Jabar		
Not Available				
<p>内容                  名前に関する件</p>				

D.119	Unnamed	Unknown	南
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Magetan, Madiun, Jatim	
			
<110716-038>			
内容 年号			

D.123	Dieng	Unknown	
Unknown	Unknown	Dieng, Jateng	
			
<110716-085>			
植物をかたどった装飾が見える。その他不明。			





D.124	Tugu	5th century	新
Sanskrit		Pallava	Batutumbuh, Tugu, Jakarta Utara
			
<110716-109>	<110716-110>	<110716-111>	
<p>この Tugu 石碑は北ジャカルタの Koja 区 Tugu 村の Batutumbuh 地区で発見されたタルマネガラ石碑の一つである。この石碑には Rajadirajaguru が命令した Candrabaga 川の灌漑排水プロジェクトと Purnawarman 王が治世 22 年目に命令した Gomati 川の治水プロジェクトに関して記載されている。川幅増加や浚渫などの河川整備は雨季の洪水防御対策として、灌漑設備は乾季における給水を目的としていた。</p>			

D.125	Condrogeni I	A.D. 1505	新
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Pudak, Pulung, Ponorogo, Jatim	
			
<110716-135>			
<p>Condrogeni 石碑は東部ジャワ州 Ponorogo 県 Pulung 郡 Pudak 村で発見された。この碑文は古代ジャワ文字で古代ジャワ語で書かれている。現在この村の名前は Pundak に変わっている。                  碑文の内容はまだ解読されていない</p>			

D.130	Candi Keblak	A.D. 1179	南
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Suragedug, DI. Yogyakarta	
Not Available			
Unknown details			

D.131	Candi Ijo	Unknown	南
Jawa Kuno	Jawa Kuno	DI. Yogyakarta	
Not Available			
Unknown details			

D.133	Tumpang		A.D. 1179
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Malang, Jatim	
 <p>D.133</p>			
<110717-014>		<110717-015>	
Unknown details			

D.134	Palingan		A.D.1330
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Blitar, Jatim	
 <p>D.134</p>		 <p>D.134</p>	
<110716-013>		<110716-014>	
Unknown details			

D.137	Candi Rini	A.D. 1364	右
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Kesamben, Jatim	
			
<110717-024>			
内容 年号 碑文は幾何学模様で装飾されている。その他不明			

D.138	Nglurup	A.D. 874	
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Kediri, Jatim	
Not Available			
内容 年号 その他不明			

国立博物館の収納石碑

D.139	Sapuangin	Unknown	新
Unknown	Unknown	Mojopanggung, Sidorejo, Kauman, Tulungagung, Jatim	
			
<110717-045>			
この Sapuangin 石碑は東部ジャワ州 Tulungagung 県 Kauman 郡 Sidorejo 村字 Mojopanggung で発見された。			

D.141	Layuwatang	A.D. 874	
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Magelang, Jateng	
			
<110716-059>			
内容 免税地に関する布告			



D.144	Manggala II	A.D. 874	北
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Jawa Tengah	
Not Available			
内容 免税地に関する布告			

D.145	Talang Tuwo	A.D.23 March 684	新
Melayu Kuno	Pallava	Bukit Seguntang, Palembang, Sumsel	
			
<110716-113>			

Talang Tuwo 石碑は 1920 年 11 月 17 日に Louis Constant Westenenk (residen Palembang kontemporer)が Bukit Seguntang の麓で発見し、スリウィジャヤ王国の遺物であることで知られている。

50cm × 80 cm の碑文表面の保存状態は良好である。この石碑はサカ歴 606 年(西暦 684 年 3 月 23 日)の日付がある。碑文は Pallawa 文字で古代マレー語で書かれていて 14 行から構成されている。この碑文の解読に成功したのは van Ronkel と Bosch であり、彼らの成果は Acta Orientalia に掲載されている。<wikipedia>

**【碑文内容】**

幸あれ。サカ歴 606 年の Caitra の満月の二日目はダプンタ・ヒャン・スリ・ジャヤナガの所有するこのスリクセトラ公園を作った日である。

ここに植えられたココヤシとナツメヤシ、サトウヤシ、ニッパヤシなど。これらの木の実と数種類の竹類は食用になる。同様に他の公園も私が作った養魚池や用水池を伴っている。これらのすべては動くもの動かないものを問わずあらゆる生き物の幸せを意図したものだ。この高貴な努力は他の方法で後日喜びをもたらすことを期待せよ。食糧と飲料水を得られることを望む。作られたものすべて、畑や広い果樹園はすべての生きとし生けるものを生かすために。彼の臣下は平和な生活を送れるように!犯罪や不眠症の災いから彼を遠ざけるように!すべての仕事がよい成果を結び、完璧な星であり、病気といつまでも若くある神の恩恵があれ!すべての臣下が彼に忠誠であれ。彼を裏切る

ことを期待してはならず、奥方たちは彼に対して定説であれ。どこでも彼は存在するし、窃盗と詐欺、殺人、悪行を行ってはいならない。

ダプンタ・ヒャンは「三宝」に帰依しころから菩提心を打ち立てることで、やすやすと善知識(度欲註:「善き友」「真の友人」、仏教の正しい道理を教え、利益を与えて導いてくれる人を指している=wiki)に達したのであった。それどころか、絶えず静かに結跏趺坐し、強固な意志と忍耐力を養い、すべての silpakala(美術彫刻)の相違と思考集中に関する学問を行った。

彼が深い知識と記憶、聡明さ、mahasatwa(超能力?)、manikam wajra?aria(金剛杵)の体躯、例外的な力を得られることを。過去生の記憶と完全な五感、完全な形の身体、幸福、幸運、寂静、心地よい言葉、仏の声を聴けるようになれ。おもわくはダプンタ・ヒャンが manindhara と、janmawa?ita、karmmawa?ita、kle?awa?ita を得て、最後には anuttarabhisamsyaksambodhi(阿耨多羅三藐三菩提=無上正等正覚(むじょうしょうとうしょうがく))に至れるように。

D.146	Kedukan Bukit	A.D. 692
-------	---------------	----------

Melayu kuno	Pallava	Palembang, Sumsel
-------------	---------	-------------------



< 110716-019 >

内容

- (a) 幸あれ！サカ 605 年の 11 日目の
- (b) Waisaka の満月の日からダプンタ・ヒャンが乗った
- (c) 船は siddhayatra を行った。満月から七日目の
- (d) Jyestha の月にダプンタ・ヒャンはミナンガを出発し
- (e) タムワ(ル)から二万人の兵を率いて
- (f) 一艘には二百人、千隻が進み
- (g) 312 艘が matada(nau)に到着した
- (h) 満足して(Asada)の満月の日から五日目に<143>
- (i) 安心して居留地を作った
- (j) スリウィジャヤは完全に勝利の行軍を成し遂げた



D.147	Kalasan	A.D.778	新
Sanskrit	Pranagari	Sleman Kalsan, Dl. Yogyakarta	



<110716-118>

サカ歴 700 年(西暦 778 年)の日付がある Kalasan 石碑は古マタラム王国のサンジャヤ王族の遺物である。この石碑は Yogyakarta の Sleman Kalsan 郡で発見されたものであり、サンスクリット語を Pranagari 文字で書いてある。

この石碑は、Guru Sang Raja が、Sailendra Wamsatilaka (シャイレンドラ家の宝石)を作り上げた Maharaja Tejahpura Panangkarana (Kariyana Panangkara)に、Kalasan 村を仏教徒に提供することと共に Dewi Tara の聖堂と僧坊を作るべく上奏したことを述べている。ここでいう聖堂とは Candi Kalasan のことである。

**【碑文内容】**

Arya (聖) Tara への崇敬とこの祈禱が聞き届けられんことの祈り。

シャイレンドラ王の師たちから、パンチャパナ・パナンカラン大王へタラ祠堂を建てられんことを申し出でる。この願いはタラ神像と祠堂、さらには大乘仏教の智慧をまなぶ僧侶のための数件の住宅を建ててもらふことであった。

農民と囚人、貧困者たちはタラ祠堂と僧坊の建設の命令を受け入れた。シャイレンドラ王の師たちのため、Sailendra 王族の装飾となるタラ祠堂は豊かな王の土地に建てられた。サカ 700 年パナンカラン大王は師たちが祈禱をささげる場所としてタラ祠堂を竣工した。

カラサン村が提供された。農民と囚人、貧困者(大衆)と村の役人と指導者たちが目撃証人になった。シャイレンドラ王家の子孫の王たちや大衆が代々にわたってこの祠堂をよく維持管理できるように、寺院に土地を寄付した。その後王は、将来この国を支配する王たちに、国民全員の幸せのために末永くこの寺院を守ってくれるよう何度も懇願したのである。

この祠堂の建設への神の恩恵に、生誕に関する知識を獲得し、苦行・禁欲主義を得、中国の教えに従うことを希望する。この寺院を完璧な状態に維持する後続のすべての王に対して、この高貴なパナンカランは彼の願いをさらに繰り返す。

D.148	Suracala	Unknown	新
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Kretek, Bantul, DI. Yogyakarta	
			
<110717-046>		<110717-047>	
<p>古代ジャワ文字と古代ジャワ語で書かれた Susuhunan Ratu Hamengkurat II 閣下が建てた建物に関する碑文。Yogyakarta の Bantul 郡 Kretek 村で発見された。                  Source &lt;perihal asa yang tercecceer pada kata.. - Multiply&gt;: broken link (Apr-25-2013)</p>			


D.150	Sanggarahan	14 <sup>th</sup> century	
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Malang, Jatim	
Not Available			
Unknown details			

D.152	Candi Tuban	A.D. 1129	左
Sanskrit	Jawa Kuno	Ngunut, Tulungagung, Jatim	
			
<110716-067>			
<p>動物の装飾が施されている。 その他不明</p>			

D.153	Ngalindung	14 <sup>th</sup> century	右
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Desa Ngalindung Tengah, Bogor, Jabar	
			
<110716-011>			
Unknown details			

D.155	Telaga batu	About A.D.686
Melayu Kuno	Pallava	3 Ilir, Ilir Timur II, Palembang, Sumsel
		
<p>&lt;110716-098&gt;</p>		
<p>Telaga Batu 1 石碑は Sabokingking からはさほど遠くない Telaga Biru 池付近の南スマトラ州 Palembang 市 Ilir Timur II 郡 3 Ilir 村で 1935 年に発見された。この石碑が発見された付近で、石碑があった地域の仏教寺院の由緒について書かれた Telaga Batu 2 石碑も発見された。Telaga Batu 石碑は安山岩に掘られたもので高さが 118cm 巾が 148cm である。上部には七匹のコブラの頭が飾られており、下部中央には水を流す注ぎ口がある。この碑文は 28 行からなり古代マレー語を Pallawa 文字で書いている。碑文に日付がないが、Kota Kapur 碑文とほぼ同時に建てられたもの。</p>		

D.163	Telaga Batu	7 <sup>th</sup> century	左
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Telaga Batu Sabukingking 2 Ilir, Palembang, Sumsel	
<p>Language and character are also doubtful</p>			
			
<p>This photo is doubtful. To be checked at Museum</p>			
<p>Unknown details</p>			

D.168	Tapan		A.D. 1139	右
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Tulungagung, Jatim		
				
<p>&lt;110717-023&gt;</p>				
<p>内容 年号</p>				

D.169	Getes		A.D. 1317	
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Ngawi, Madiun, Jatim		
				
<p>&lt;110717-013&gt;</p>				
<p>内容 年号</p>				



D.173	Harinjing B (Sukabumi)	A.D.804
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Kediri, Jatim
		
<110716-087>		<110716-088>

Sukabumi 石碑は東部ジャワの Pare 郡 Sukabumi の農園で発見された。この石碑は金石学の専門家たちの間では Harinjing 石碑として知られている。碑文は古代ジャワ文字を用い古代ジャワ語で石碑の両面に彫られている。この石碑には同じ内容のものが三基ある。

Harinjing A 碑文前面： サカ歴 726 年 Suklapaksa の月 11 日 Caitra(西暦 804)年に Culangi 地域の僧侶たちが、Harijing という名の川に放水路(水路)を作り同地内の hak sima(保護地)を開発した、と述べている。

Harinjing B 碑文裏面： 1 から 23 行目で、Culangi の僧侶たちがこの水路を維持管理しなくてはならないために同僧侶たちの特権を Sri Maharaja Rake Layang Dyah Tulodhong がサカ歴 843 年 Suklapaksa の月 15 日 Asuji (西暦 921 年 9 月 19 日)に宣言した、と述べている。



Harinjing C 碑文： サカ歴 849 年 Suklapaksa の月 1 日 Caitra (西暦 927 年)に同じ権利について宣言したと述べている。 <wikipedia>




D.175 & D.176	Mulawarman Yupa	5th century	西
Sanskrit	Pranagari	Kutai, Kaltim	
			
D.175 <110717-033>	D.176 <110716-050>	<110716-058>	
<p>Mulawarman 石碑(Kutai 石碑)は Kutai 王国の石碑である。この石碑は七基の石塔からなり、その内四基の解読に成功している。この石碑は Pallawa Pra-Nagari 文字を使ったサンスクリット語を使っており、その形状と種類から西暦 400 年頃のものと思われる。碑文は anustub 詩の形式で書かれている。</p> <p>内容は、Mulawarman 王が Brahmana 一族に大量の牛で構成される貢物を捧げたとある。Mulawarman は Kudungga の孫であり Aswawarman の子供であるがこの碑文は述べている。この石碑はインドネシアにおけるヒンドゥー教信仰を持つ王国の最古の遺物である。この石碑は東 Kalimantan の Kutai 県で発見されたために、この石碑には述べられていないが、Kutai の名は一般的にこの王国の名前として使われている。</p>			

国立博物館の収納石碑

D.178	Unknown	Unknown
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Jabar
Not Available		
Unknown details		

D.180	Gadang	A.D. 1385	左
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Unknown	
 <p>&lt;110716-078&gt;</p>		 <p>&lt;110716-079&gt;</p>	
<p>内容 免税地に関する布告</p>			

D.182	Merjosari		Unknown	右
Sanskrit	Jawa Kuno	Dinoyo, Malang, Jatim		
				
<110717-026>				
Unknown details				

D.183	Unnamed		Unknown	右
Unknown	Unknown	Unknown		
				
<110717-019>				
Unknown details				

国立博物館の収納石碑

D.195	Madiun I		A.D. 986	
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Jatim		
Not Available				
内容				
年号				

D.198	Amoghapasa (Padang Roco)	A.D.1286
Sanskrit	Unknown	Siguntur, Sitiun,Darmasraya, Sumbar



<110716-097>

Amoghapasa 石碑は 1911 年に西スマトラ州、ダルマスマラヤ県シティウン郡ジグントゥール村のパダン・ロチョ寺院群遺蹟で発見された。

Amoghapasa(不空罽索観音)碑文は、不空罽索観音像の光背の裏に書かれたものである。また Padang Roco 碑文とも呼ばれる。1347 年に仏像の説明のために Adityawarman が石像の光背の裏面に文字を追加して刻んだものである。

この神像は Singhasari 王の Kertanagara がサカ歴 1208 年(西暦 1286 年)に Dharmasraya の Melayu 王 Tribhuwanaraja に贈呈したものである。この神像の台座には Padang Roco 石碑は神像の附属物であるとの文がある。

この神像の光背の裏面に刻まれた碑文はサンスクリット語で書かれている。この文は文法的に構成されておらず、正しい解読に困難を極めている。碑文の内容の大部分は Adityawarman に対する賞賛の言葉である。

解読できたいくつかの文章はこの碑文が建てられた意図を考える助けになった。注目すべきは、Adityawarman (別名 Adityawarmodaya)の命により、大僧正(Acarya=pendeta guru)の Dharmasekra が不空罽索観音像を造った決意という点である。Adityawarman は、Melayu 王国を復活させ西暦 1347 年に Malayapura と名付けたことにより、Srimat Sri Udayadityawarma Prataparakrama Rajendra Maulimali Warmadewa の称号を持った Maharajadiraja であると自称したとも書かれている。

<wikipedia>

国立博物館の収納石碑

D.199	Unknown	Unknown	
Unknown	Unknown	Unknown	
			
<110717-027>			
Unknown details			

D.201	Candi Tegowangi	A.D. 1415	西
Jawa Kuno	Pallava	Kediri, Jatim	
Not Available			
内容 年号			

D.207	Kediri	Unknown	
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Kediri Jatim	
Not Available			
内容 年号			



D.213	Ngluyu		A.D. 1391
Jawa Kuno	Jawa Kuno	Bojonegoro, Jatim	
Not Available			
内容 年号			

## 考察

この本に掲載した石碑のうち、年代と発見場所が判明しているもののみの数量を下表にまとめた。石碑の出土地を年代別に分類した地図を巻末に添付するので合わせてご覧ください。

Table of Inscriptions (pc)

Location	Century											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
Palembang	4											
Temanggung					4	1						
Wonosobo					3							
Dieng					4							
Magelang					2	2	1					
Yogyakarta					1	2	2	1				
Klaten					4	1						
Madiun					2				1	1	1	
Kediri					2	1			2	1		
Tulungagung									2	2		1
Surabaya					1	1	3			2		
Malang					2	1	4	2		2		
Singasari					1	2			1			
Kutai	4											

ここに登場する石碑のうち比較的初期のものはサンスクリット語で書かれており、他の東南アジア諸国と同様に北インドの強い影響が感じられる。

紀元を挟んで北インドでは数百年間の混乱が続き、仏教がヒンドゥー教に圧迫されたため、北インドにいた多数の王族たちが戦乱を避けて東南アジアに移動した。この時にインドの文化と宗教を東南アジアにもちんだ。その影響はインドネシアのみならず、東端はベトナムにあったチャンパまで及んだのであった。このおかげで、東南アジア諸国は文化・経済的に発展したとともに、中国とインドとの間の海のシルクロード

ドが発達し、特にチャンパ王国とスリウィジャヤ王国は海上交易で名を馳せたのであった。

この一覧表から、以下のようなことが考えられる。

4世紀に勃興したクタイ王国は何かの理由で滅びてしまい、子孫たちは離散してしまった。

中部ジャワの高原地帯とジョグジャカルタ周辺地域に起こった古代の王国は、東部ジャワの高原地帯であるマラン周辺地域に起こった王国と併存していたことが分かる。

また中部ジャワ地域において11世紀以降に石碑が見られないのは、11世紀初頭にジョグジャカルタ北方のメラピ火山が大噴火したことに関係しているのかもしれない。同様に東部ジャワ州でも西部地域には同時期の石碑が見られないのは、この火山活動により東部ジャワ州まで降灰の影響を受け11世紀の間はこの地域でも経済活動が停滞したのであろう。メラピ火山からマランまでは約250kmあるので、マラン周辺の経済活動が停滞したとは考えにくく、マランの東側にあるスメル火山も同時に噴火したのかもしれない。

考古学遺跡は、比較的標高が高い場所にあるのが一般的であり、ジャワ島では南側の丘陵部を通る旧街道沿いに多数の遺跡が位置している。ジャワ島の北側にはブングワンソロとブランタスの両大河が流れており、毎年大洪水に襲われる湿地帯であり、人間が住みにくかったことが原因しているのだろう。とはいえ、ブランタス側のデルタにあるスラバヤは、その北側と西側には丘陵とを背負っており、その北方の海岸にはグレンシクという古代からの港湾都市が発達していた。また南側はアルジュノ山などの山塊があり、港湾都市とブランタス河の河川交通との中継地となっていたのではないだろうか。

スラバヤ付近のモジョクルトには14世紀頃にできたマジャパヒト王国の都の遺跡が現存しており、遺跡公園になっている。

上記の表にはマディウン付近の石碑が何点か掲載されているが、大規模な遺跡は見当たらない。マディウンとジョグジャカルタの中間に聳えるラウ(Lawu)山には、修行場が多数存在し、個人の宗教はとにかくとしも、今でもたくさんの人が修行に訪れている。

さらにクディリではジャヤバヤ王で有名なクディリ王国があり、多数の遺跡があるが、モジョクルトほどの規模ではないため、それほど大きな王国ではなかったであろう。

マランでは、その市内にディノヨ王国の遺跡が、約20km北側にはシンガサリ王国の遺跡がある。

スマトラ島出土の石碑はほぼすべてが古代マレー語(Proto-Malay)で書かれており、古代ジャワ語でその大多数が書かれたジャワ島出土の石碑と言語が異なっている。これは七世紀に勃興したスリウィジャヤ王国と関係がある。

現在のインドネシア・マレー語は、スマトラ中部で使われているミナンカバウ語と似ている。ミナンカバウ王国はスリウィジャヤ王国が崩壊した後にムラユ王国と共に誕生した国である。

インドネシアの古代史に興味をお持ちなら、ぜひとも Slamet Muljana の著書、Sriwijaya と Menuju Puncak Kemegahan (Sejarah Kerajaan Majapahit)をお読みください。両著ともインドネシア語のみで出版されている。

現在この両著ともこのアルバムの筆者が和訳中であり、終了次第、ウェブサイトに掲載することになっている。

## 石碑一覧 名称順

Code	Name	Page	Year	Lang.	Script	Location
D.198	Amoghapasa (Padang Roco)	77	1286	San	UK	Siguntur, Sitiun, Darmasraya, Sumbar
D.59	Anjuk Ladang	36	937	JK	JK	Candi Lor, Nganjuk, Jatim
D.54	Balingawan (Singasari)	34	891			Pakis, Malang, Jatim
D.109	Balingawan (Singasari)	56	891	JK	JK	Singasari, Malang, Jatim
D.16	Baru	16	1030	JK	JK	Simpang, Surabaya, Jatim
D.131	Candi Ijo	62	UK	JK	JK	DIY
D.130	Candi Keblak	62	1179	JK	JK	Suragedug, DIY
D.137	Candi Rini	64	1364	JK	JK	Kesamben, Jatim
D.112	Candi Singasari	67	1254	JK	JK	Singasari, Malang, Jatim
D.201	Candi Tegowangi	78	1415	JK	Pal	Kediri, Jatim
D.152	Candi Tuban	70	1129	San	JK	Ngunut, Tulungagung, Jatim
D.25	Cane	21	1021	JK	JK	Surabaya, Jatim
D.4	Canggal	8	732	San	Pal	Magelang, Jateng
D.125	Condrogeni I	62	1505	JK	JK	Pudah, Pulung, Ponorogo, Jatim
D.11	Dien	13	878	JK	JK	Dien, Kejajar, Wonosobo, Jateng
D.123	Dieng	60	UK	UK	UK	Dieng, Jateng
D.57	Dieng No. 8 and 9	35	809	JK	JK	Dieng, Jateng
D.114	Dinoyo	59	760	JK	JK	Malang, Jatim
D.180	Gadang	75	1385	JK	JK	UK
D.169	Getes	72	1317	JK	JK	Ngawi, Madiun, Jatim
D.88	Gulunggulung (Singasari)	50	929	JK	JK	Malang, Jatim
D.18	Gunung Dieng	17	808	JK	JK	Dieng, Kedu, Jateng
D.15	Gunung Panganan	15	808	JK	JK	Dieng, Kedu, Jateng
D.74	Gunung Wule (Brahol)	44	861	JK	JK	Wonosobo, Jateng
D.9	Hantang	12	1135	JK	JK	Ngantang, Malang, Jatim
D.173	Harinjing B (Sukabumi)	73	804	JK	JK	Kediri, Jatim
D.19	Huwung	17	922	JK	JK	Nanggulan, DIY
D.32	Janggala	25	1385	JK	JK	Surabaya, Jatim
D.35	Java Central	26	878	JK	JK	Jateng
D.43	Jawa Tengah	31	UK	JK	JK	UK

## 国立博物館の収納石碑

Code	Name	Page	Year	Lang.	Script	Location
D.70	Jeru-jeru	42	930	JK	JK	Singasari, Malang, Jatim
D.147	Kalasan	68	778	San	Pra	Sleman Kalsan, DIY
D.23	Kambang Putih	20	1028	JK	JK	Tuban, Jatim
D.21	Kampak	18	929	JK	JK	Surabaya, Jatim
D.17	Kandangan (Gunung Kidul)	16	906	JK	JK	Gg Kidul, DIY
D.113	Kanjuruhan / Dinoyo	58	760	JK	JK	Karangbeski, Malang, Jatim
D.79	Kanten	46	UK	JK	JK	Ponorogo, Jatim
D.37	Kawambang Kulwan	27	992	JK	JK	Sendang Kamal, Maospati, Madiun, Jatim
D.27&34	Kayumwungan (Karang Tengah)	22	824	JK	JK	Karangtengah, Temanggung, Jateng
D.207	Kediri	78	UK	JK	JK	Kediri, Jatim
D.146	Kedukan Bukit	67	692	MK	Pal	Palembang, Sumsel
D.44	Kelurak	31	782	San	Pra	Kelurak, Magelang, Jateng
D.66	Kinawe (Tanjung Kalang)	36	928	JK	JK	Tanjung kalang, Kediri, Jatim
D.90	Kota Kapur	52	686	MK	Pal	Bangka, Riau
D.118	Krawang	59	UK	JK	JK	Krawang, Jabar
D.141	Layuwatang	65	874	JK	JK	Magelang, Jateng
D.103	Linggasuntan (Lawajati)	55	929	JK	JK	Lawajati, Singasari, malang, Jatim
D.60	Madiun	37	1469	JK	JK	Madiun, Jatim
D.195	Madiun I	76	986	JK	JK	Jatim
D.144	Manggala II	66	874	JK	JK	Jateng
D.40	Mantyasih II / Balitung Charter / Kedu	30	907	UK	UK	Mantyasih, Magelang, Jateng
D.182	Merjosari	75	UK	San	JK	Dinoyo, Malang, Jatim
D.2a & 2d	Mulawarman Yupa	7	5th C	San	Pal	Kutai, Kaltim
D.175, 176 & 177	Mulawarman Yupa	74	5th C	San	Pal	Kutai, Kaltim
D.93	Munggu Antan (Bulus)	53	887	San	San	Bulus Balak, Kedu, Jateng
D.153	Ngalindung	70	14th C	JK	JK	Ngalindungtengah, Bogor, Jabar
D.138	Nglurup	64	874	JK	JK	Kediri, Jatim
D.213	Ngluyu	79	1391	JK	JK	Bojonegoro, Jatim
D.134	Palingan	63	1330	JK	JK	Blitar, Jatim
D.22	Patakan	20	11th C	JK	JK	Surabaya, Jatim



Code	Name	Page	Year	Lang.	Script	Location
D.8	Penampihan	11	1460	JK	JK	Gg Wilis, Tulungagung, Jatim
D.62	Pendem	38	881	JK	JK	Pendem, Jateng
D.95	Piling piling	53	996	JK	JK	Dinoyo, Malang, Jatim
D.82	Plaosan	48	9th Cen	San	Pra	Plaosan, DIY
D.38	Prapancasapura	28	1343	JK	JK	Surabaya, Jatim
D.45	Salimar I (Prambanan)	32	880	JK	JK	Prambanan, Jateng
D.46	Salimar II (Nanggulan II)	33	880	JK	JK	Slamen, DIY
D.150	Sanggarahan	69	14th Cen	JK	JK	Malang, Jatim
D.73	Sanghyang Tapak	43	1030	JK	JK	Cibadak, Sukabumi, Jabar
D.96/97/98	Sanhyang Tapak	54	1030	JK	JK	Cibadak, Sukabumi, Jabar
D.139	Sapuanjin	65	UK	UK	UK	Sidorejo, Kauman, Tulungagung, Jatim
D.14	Sarangan	15	929	San	Pal	Mojokerto, Jatim
D.67	Sepanda (Hering)	41	1242	JK	Pal	Kujun Manis, Kediri, Jatim
D.1	Singga/Biri	6	1202	UK	UK	Kediri, Jatim
D.111	Singhasari	57	1351	JK	JK	Singasari, Malang, Jatim
D.58	Sir Manggala I	35	874	JK	JK	Dieng, Jateng
D.28	Siwagrha(Sivagrha) Balaputra-Jatiningrat	23	856	UK	UK	UK
D.51	Srago	33	9th C	JK	JK	Klaten, Jateng
D.33	Sri Sastraprabhu (Sirah Keting)	26	1204	JK	JK	Sirah Keting, Ponorogo, Jatim
D.12	Sumengka	14	1059	JK	Pal	Semengko, Mojokerto, Jatim
D.83	Sungih Manek	48	915	JK	JK	Malang, Jatim
D.87	Sungih Manek (Singasari)	49	915	JK	JK	Malang, Jatim
D.89	Surabaya	51	9th C	San	Pra	Surabaya, Jatim
D.148	Suracala	69	UK	JK	JK	Kretek, Bantul, DIY
D.31	Taji	24	1204	JK	JK	Magetan, Madiun, Jatim
D.6	Taji Gunung	9	910	JK	JK	Taji, Prambanan, DIY
D.145	Talang Tuwo	66	684	MK	Pal	Bukit Singuntang, Palembang, Sumsel
D.168	Tapan	72	1139	JK	JK	Tulungagung, Jatim
D.155	Telaga Batu	71	about 686	MK	Pal	3 Iilir, Iilir Timur II, Palembang, Sumsel
D.163	Telaga Batu	71	7th C	JK	JK	Subkingking 2 Iilir, Palembang, Sumsel

国立博物館の収納石碑

Code	Name	Page	Year	Lang.	Script	Location
D.20	Telaga Tanjung (Kali Beber)	18	862	JK	JK	Kalibeber, Wonosobo, Jateng
D.36	Timbanan Wungkal (Gatak)	28	UK	UK	UK	UK
D.107	Tri Tepissan I (Candi Petung I)	56	842	JK	JK	Magelang, Jateng
D.39	Tri Tepussan II (Candi Petung II)	29	842	UK	UK	UK
D.86	Tuban	49	UK	JK	JK	Tuban, Jatim
D.124	Tugu	61	5th C	San	Pal	Batutumbuh, Tugu, Jakarta
D.7	Tulang Air I (Candi Perot I)	6	850	JK	JK	Taji, Prambanan, DIY
D.80	Tulang Air II (Candi Perot II)	46	850	JK	JK	Temanggung, Jateng
D.133	Tumpang	63	1179	JK	JK	Malang, Jatim
D.63	Turu Mangambil (Pendem II)	39	908	JK	JK	Purworejo, Jateng
D.178	UK	74	UK	UK	UK	Jabar
D.199	UK	78	UK	UK	UK	UK
D.119	Unnamed	60	UK	JK	JK	Magetan, Madiun, Jatim
D.183	Unnamed	76	UK	UK	UK	UK
D.81	Wanua Tengah I (Candi Argapura I)	47	863	JK	JK	Temanggung, Jateng
D.10	Wayuku	13	854	UK	UK	UK
D.77	Wukiran (Pereng)	45	863	San	JK	Prambanan, Jateng

Remarks:

C: century

DIY: Daerah Istimewa Yogyakarta

UK: Unknown

JK: Jawa Kuno (Classic Javanese)

MK: Melayu Kuno (Proto-malay)

San: Sanskrit

Pal: Pallava

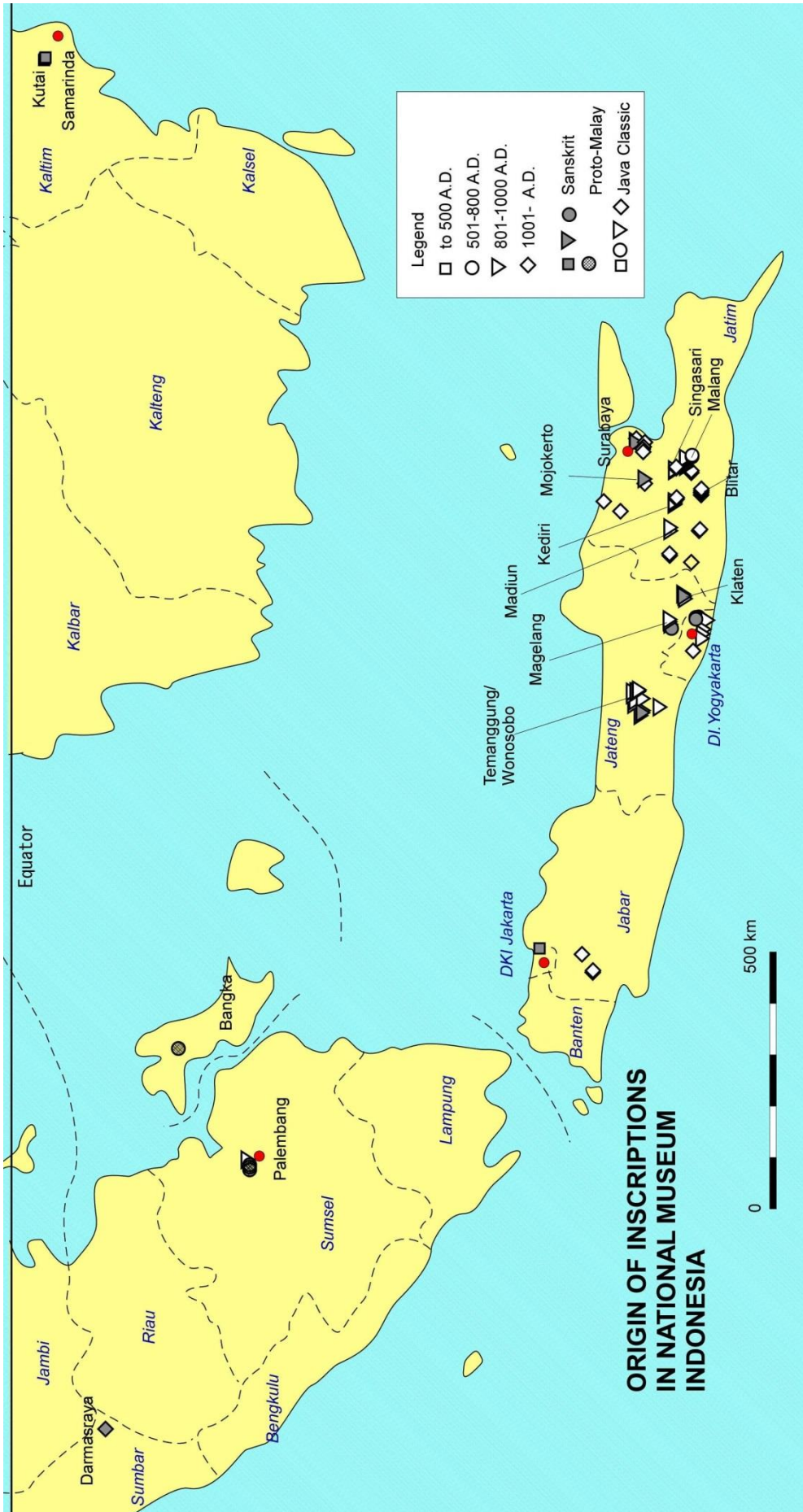
Pra: Pranagari

Reference book

“Sriwijaya” by Slamet Muljana

“Sikap Pengunjung Terhadap Informasi pada Prasasti di Ruang Koleksi Arkeologi Museum Nasional” By Mr. Edy Gunawan 2010, UI Depok .

Websites indicated each article.



## 訳者略歴



1948年11月15日 神奈川県横須賀市生まれ

1972年4月 日本工営株式会社入社

在職中は多数のODAの海外プロジェクト案件に水門鉄管の専門家として従事。

1976年から1978年まで同社ジャカルタ事務所の技術営業担当・

専門家としての主な参加案件は、

- マレーシア国テノムパンギ水力発電事業、
- インドネシア共和国シングル水力発電建設事業、テス1水力発電建設事業、パマラヤン灌漑施設改修事業、ウエスカンポン・バトゥティギダム建設事業、ウエスカンポン灌漑設備改修事業、バタンハリ灌漑設備建設事業、ダイヤコロット発電機工場改修事業、インドネシア水資源設備改修事業、プサンガン水力発電建設事業、国有電力会社発電業務改善事業、その他多数
- ベトナム社会主義共和国 ソンラ水力発電事業
- ネパール王国(当時) クリカニ第一、第二水力発電設備復旧事業
- イラン・イスラム共和国 カルン第四水力発電事業、他

平成7年 技術士・建設部門登録

平成21年3月 日本工営株式会社定年退職

一年間 休み

平成22年3月から日本工営株式会社から委託を受けてプサンガン水力発電建設事業、国有電力会社発電業務改善事業に参加した。

国立博物館収納石碑写真集

2013年7月14日 初版

2013年7月25日 一訂版

編者 田口重久

発行者 田口重久

装丁デザイン 田口重久

発行所 自費出版

印刷・製本 自作